

大阪商業大学大学院
地域政策学研究科 経営革新専攻

入学試験問題(一般・社会人)

【修士課程】

平成 26 年度 (秋期) 小論文・外国語(英語)
平成 26 年度 (春期) 小論文・外国語(英語)

小論文問題

次の①～③の問題の内、1つだけ選択して解答用紙に記入してください。解答用紙には選択した問題の番号を必ず記入してください。

- ① 近年、日本においても、交通や物流の分野で規制緩和が実施されてきた。しかし、この変化は経営者のみならず、労働者にも大きな影響を与えた。
そこで、交通あるいは物流分野における規制緩和について、具体的な事例を挙げて説明し、その意義について論述しなさい。
- ② マーケティングにおいて、S（セグメンテーション）、T（ターゲッティング）、P（ポジショニング）分析がマーケティング・ミックス（4P）の決定に際して非常に重要といわれている。具体例を挙げて、S・T・Pの重要性を説明しなさい。
- ③ 世界には一日2ドル以下の収入で生活する人々が40億人以上もいるといわれています。これらの貧困層はBOP(Base of the Pyramid)と総称されています。今までBOPの人々は経済開発論の研究対象と考えられてきましたが、経済援助の取り組みはあまり成果を上げていません。新たに、ビジネスの手法を活用した貧困の削減が提唱されるようになっていきます。中国は改革開放政策とビジネスの普及によって貧困層の削減に成功しました。このように、今日では、ビジネスという手法の普及による貧困層の経済的自立と生活改善が「ソーシャル・ビジネス」として注目されています。多国籍企業は、途上国の貧困層の削減と経済発展に積極的に貢献すべきでしょうか。また、企業はどのようにしたら対立してきたNGOやNPOと協力関係を結ぶことができるでしょうか。BOPビジネスを展開するに当たり、経営者はどのような考え方(経営理念)を持つべきでしょうか。BOPビジネスについて貴方はどのような考え方や意見をお持ちですか。考えるところを論じなさい。